

一部のHIV感染者では ARTレジメンの変更が必要

ガイドラインには、ウイルス学的抑制が得られている患者に対してARTの変更を支持する理由が記載されている。

- 忍容性を改善する¹⁻⁵。
- 短期または長期毒性を軽減する¹⁻⁵。
- 食事または水分摂取の必要量条件を変える^{1,2}。
- 薬物相互作用を最低限に抑える¹⁻³。
- 妊娠中の胎児に対する安全性に関してARTレジメンを最適化する¹⁻³。
- 薬剤費を削減する¹。
- 服薬量または服薬頻度を減らす^{1,3}。